

田久浩志 著

医療者のための Excel 入門 第2版

超・基礎から医療データ分析まで

濱岸利夫（中部学院大学看護リハビリテーション学部理学療法学科）

「医療者のための Excel 入門」とタイトルにあり、サブタイトルには「超・基礎から医療データ分析まで」とある。そのため、「Step 1 Excel に慣れよう 基本操作編」から始まる。

読者が少しでもパソコンや Excel の操作に慣れていれば、Step 1 には見向きもしないで他のステップへ進んでしまうかもしれない。

しかし、私は Step 1 から目を通すことをぜひともお勧めする。具体的には、私たちが Excel の操作時に「間違えやすい文字（表 1-2）」が列挙しており、「編集操作でよく使うショートカット（表 1-3）」も表にまとめてある。

Step 1 を読んで理解すれば、データ入力時あるいは分析時、セルに数値を入力したはずが、思ったように計算できないことにイラついたり、大量のデータ処理時に煩わしさを感じたりすることを避けられるかもしれない。

そして、初版からある「データ入力が楽になる裏ワザ」（pp.37-44）は必見である。

今回、私もじっくりと目を通してみると、例えば、+（セミコロン）で、「現在の日付を入力します」とあるので、実際に入力してみると日付が表示されるので驚いた。

同様に、+（コロン）で、「時刻が入力される」ことを確認し、こちらも時刻が表示できた。これだけでずいぶんと得をした気持ちになる。このようにキーボード操作で得られる「お得感」も随所にある。

さらに Step 2 は、読者が練習用データ（医学書院 Web サイトから入手可能）を使いながら情報処理を

練習できるようになっており、テキストを読み進めながら一人でも学習する工夫がされている。

また Step 3 は、グラフの作成について記載されており、Word や PowerPoint への貼り付け方の形式も詳しく解説されている。一読すれば、グラフをうまく貼り付けることができる。

本書の中で、私が最もお勧めしたい内容は Step 4 「ピボットテーブルを使ってみよう 集計とグラフ応用編」である。ぜひとも熟読していただきたい。

そこには「ピボットテーブル」というキーワードがあり、耳慣れない方がいるかもしれない。ただ、一度使い始めると、その便利さを実感できる。特に Excel シートのデータからクロス集計表を作成する作業の上ではマスターしておきたい。

「データから一瞬でクロス集計表を作成するテクニックね……」とご存知の読者もいるかもしれないが、もし、初めて聞く読者であれば、ぜひとも試してみることをお勧めする。

もちろん、ピボットテーブルからすぐにグラフも作成することができ、その操作についても詳しく記述されている。

私も著者から教わったとき、最初は驚いた。それ以降、何度もクロス集計表やグラフ作成に役立っている。「Excel には、こんな便利な機能があったのだ……」と当時の記憶が今でも残っている。

初心者だけではなく、Excel を使い慣れたベテランにもぜひお勧めしたい。

（B5・頁 184 2020 年 定価：本体 2,400 円 + 税 [ISBN978-4-260-04079-2] 医学書院刊）